



議会だより

せとうち

2024

5.1

第78号



議案審議…… 2～6
人事案件…… 4
代表質問…… 7～12
個人質問…… 13～18
議会報告…… 18、19

**日本三大龍穴のひとつではないかと
いわれているパワースポット【りゅうごん様】**
日照りの時、大雨を降らせた伝説の龍が宿る岩があります。

～磯上子どもたちと(長船町磯上地内)～

女子野球を通じて魅力発信 約280万円



3月23日女子野球タウン協定を締結

令和5年10月に岡山県初となる「女子野球タウン」として認定された。その記念事業として、講演会やスポーツ体験会などを開催する予算が計上され、可決した。

問 どのような計画か。

答 スポーツに関係する著名人を呼びたい。

問 女子野球タウンであるなら、ハード整備の支援も必要では。

答 邑久スポーツ公園野球場の改修工事を進めていく。防球ネットの整備から始め、スポーツ施設全体の再整備をしていく。

給食費に約1億3千万円 半年無料 残り半額免除

小中学校の給食費を4月から9月までは無料、10月から3月までは半額免除にするための予算が計上され、可決した。

また、10月頃から給食を※公会計にするための条例が上程され、可決した。

問 財源は。

答 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が約8千万円、基金の活用が約5千万円である。

問 なぜ1年を通して無料にしないのか。

答 財源の確保が出来ない。

問 公会計化で、保護者はどう変わるか。

答 キャッシュレス化を進めることにより、利便性の向上を図ることができる。システムかアプリケーションかの導入を考えており、業者選定後稼働できるのが10月頃と考えている。

※公会計とは
国や地方公共団体の会計のこと。

UNHCRに海外支援金 680万円

ウクライナをはじめとする世界各地の難民支援のために、国連UNHCR協会を通じて寄付する予算が計上された。この予算を削除する修正案が提出されたが、賛成多数で可決した。

問 ふるさと納税を利用し、寄付額から事務費や返礼品を除いたお金680万円と聞いたが、寄付総額は。

答 12月末時点で、632件、約1千500万円である。

問 今後も本市は、この方法で支援を続けるのか。

答 今後とも本市は、この方法で支援を続ける。

反対主旨
本来ふるさと納税とは、「生まれ育ったふるさとに貢献する」「自分の意志で応援したい自治体を選ぶ」ことである。また、寄付とは本来、自らの意思で金銭や品物などを無償で提供することを指す。寄付や人道支援には賛成だが、寄付金を寄付する行為はいかなるものかと考える。

問 ふるさと納税の仕組みを活用して、UNHCRを通じて、ウクライナに限らず世界各地の難民支援を続けていき、難民支援の大切さを訴えていく。

こどもみらいサポートセンターに 約3千100万円

現在、青少年育成センターの中に適応指導教室という事業が含まれており、青少年育成等と適応指導の両方を同じ指導員で行っている。しかし近年の最重要課題でもある不登校、集団への不応、ひきこもりなど多様化している現状に対応するには、十分とはいえない状況になっている。

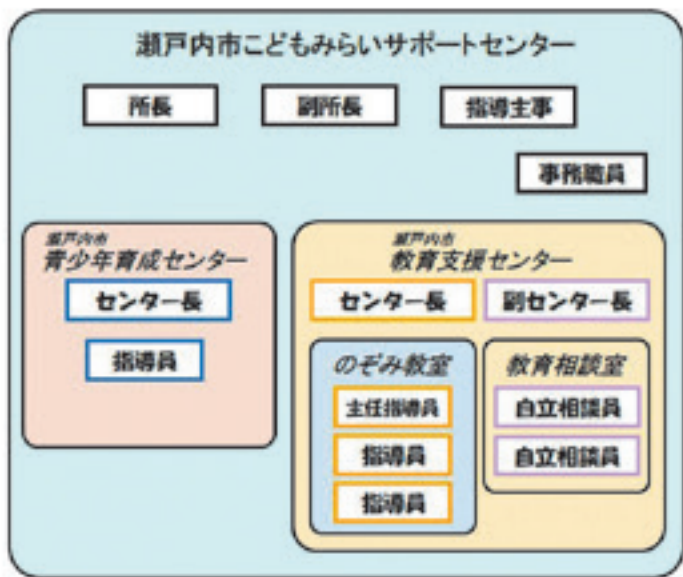
こどもみらいサポートセンターを設置し、その中に青少年育成センター事業と教育支援センター事業を置くための予算が計上され、可決した。

また、設置条例が上程され、可決した。

問 設置場所をどう考えているのか。

答 現在は邑久コミュニティセンターを間借りしているが、相談室もなく手狭な状況が続いている。財源等の問題もあるが、各方面と相談しながら早急に場所を確保していきたいと考えている。場所としては、図書館も公民館もある現在の場所付近がすぐれた場所だと思っている。

また、市営バスで長船からも牛窓からも集まりやすいので、邑久地域で探したい。



問 人員計画は。

答 現在は、所長補佐、適応指導教室の室長補佐、指導員3名と、自立支援員2名の合計7名体制である。設立後は、2名プラスとなる。

令和6年第2回（2月）定例会 賛否の公表

議案名	議決年月日	採決結果	賛否の公表														賛成	反対
			議案第16号	議案第17号	議案第18号	議案第19号	議案第20号	議案第21号	議案第22号	議案第23号	議案第24号	議案第25号	議案第26号	議案第27号	議案第28号	議案第29号		
令和5年度瀬戸内市一般会計補正予算(第10号)に対する修正案について	R6.3.4	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	4	13
令和5年度瀬戸内市一般会計補正予算(第10号)	R6.3.4	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	4

○＝賛成 ●＝反対 退＝退席 欠＝欠席 ―＝議長職（議長は採決に加わりません）

地域ビジネス支援センター 約4千900万円

地域ビジネス支援センターの整備に向け、設計委託料が計上され、※付帯決議を付して可決した。

問 詳細は。

答 埋蔵文化財調査に約3千万円、建物の実施設計に約2千万円を計上している。

問 全体の総事業費は10億5千900万円で、市の持ち出しが約3億7千万円になると説明があった。事業費が最終的にいくらになるのか。

答 計画は、最終調整中である。詰めが終われば、計画段階での事業費の試算が出る。

問 事業実施は、交付金の交付決定まで待てないのか。

答 関連団体との協議の中で進めている。早期に事業を開始する必要がある。

国の交付金がもらえるかどうかはつきりしない中で、事業が進むことは問題であるとし、付帯決議を付した。

付帯決議

1. 経過や整備状況について、議会へ適宜報告すること。
2. ビジネス拠点としての機能を有するものとする。

ほか

※付帯決議とは

議会が、事業を執行する上での要望や留意事項を表明するものである。



地域ビジネスセンター整備予定地

伝統工芸に 1千万円

本市の代表する伝統工芸品、日本刀や焼き物の保存継承に取り組むための伝統工芸美術品保存技術者支援補助金が計上され、付帯決議を付して可決した。

問 詳細は。

答 技術の保存、活用、後継者の育成を支援するための補助金である。

問 補助金交付要綱の詳細は。

答 現在調整中である。

問 本事業の令和5年度の実施状況は、どうなっているのか。

答 執行していない。

令和5年度から予算計上されているにもかかわらず、根拠がまだないということは問題であるとし、付帯決議を付した。

付帯決議

1. 補助金交付要綱を整備したうえで、事業を実施すること。
2. 今後は予算計上する前に補助金交付要綱の内容を精査すること。
3. 交付金ありきではなく、真に必要な事業を行うこと。



刀鍛冶風景（備前長船刀剣博物館）

代表質問

新風 石原 芳高



代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

- 1 省エネ対策について
- 2 教育施策について

- 3 市の将来を見据えた行政施策について

問 公共施設の照明器具はLED化が進んでいるが、町内会や自治会が管理する防犯灯の中には、蛍光灯のものも多く見受けられる。2027年中には蛍光灯の製造、輸出入の禁止が決まっており、防犯灯のLED化を今まで以上に推奨していくべきではないか。

総務部参与

市所有の防犯灯、約2千800灯はLED化が完了しているが、自治会所有の約4千100灯については、半数が未完了である。防犯灯は地域の安全・安心を保つために重要な機能を果たしているとの認識している。自治会への周知や、LED設置補助金の活用を推進し、省エネ化、脱炭素化に取り組んでいきたい。

問 防犯灯の新設だけではなく、地域の実情を踏まえて、廃止も必要だと考える。廃止についても、補助制度などの仕組みづくりが必要だと考えるが。

市長

防犯灯については、将来的な人口減少、高齢化ということも見据えた対応策を考えていく必要があると思っている。

問 自治会のあり方や、地域自治組織の枠組みを、改めて考える時期が来たのではないか。

市長

災害発生時等の安全・安心を守るうえで、小学校区や旧村単位で対応策を考えていく枠組みは、重要だと考えている。

問 約3年間というコロナ禍は、子どもたちに大きな影響を及ぼしたと考える。コロナ禍を経験した子どもたちにどのような教育が必要だと考えているのか。

教育長

GIGAスクール構想の下で生み出されてきた、多様な教育実践の工夫を取り入れ、個別最適で友達との協働的な学びを進めている。先行き不透明な社会情勢にあって、正解のない課題に対しても果敢に挑もうとする意欲や、自己決定力とともに、構想を組み立てる力をつけることに取り組んでいる。

問 コロナ禍を経験した子どもたちの心のケアについての対応は。

教育長

定期的なアンケートの実施や面談、個別の相談機会を設けるなど、丁寧な観察とともに、必要に応じてスクールカウンセラーなどの専門家や関係機関につながるなどして、自己有用感を高め、不安を軽減できるように努める。





代表質問

公明党瀬戸内市議団 河本 裕志



代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

- 1 防災について
- 2 こどもみらいサポートセンターについて

問 平時の時にこそ命を守るための対策が必要と考える。能登半島地震の被害報道等では、木造家屋の倒壊が多く見受けられた。南海トラフ地震もいつ発災してもおかしくない。

産業建設部長

牛窓、鹿忍、尻海、虫明などの沿岸部に密集している地域が見られる。

問 耐震基準が古い木造家屋はどのくらいあるのか。

産業建設部長

旧耐震基準の木造家屋は、7千644戸ある。

問 家屋の倒壊を防ぐには、まず耐震診断をすることが大切だが、耐震診断の実施の

現状は。また、診断費用は。

産業建設部長

問 耐震診断件数はなぜ少ないのか。

産業建設部長

耐震診断の後、耐震改修に多額の費用を要するため進まないと考えている。

問 他市のHPのように、写真付きで、命を守るための部分改修（耐震シエルト、防災ベッド）を勧めては。

産業建設部長

他市の状況も確認しながら、皆さまでに分かり易い周知方法を検討する。

問 大地震で火災が発生した原因の過半数は、電気が原因とされている。

消防長

総務省消防庁より、石川県輪島市で大規模火災が発生した出火原因は、調査中であるものの、屋内電気配線が地震の影響で傷つくなどして発生した、電気起因した火災の可能性が高いと発表された。感震ブレーカーについては、本市消防本部HPに有効性について掲載している。他自治体の取り組みを研究していく。

問 能登半島地震では現在も断水している地域があるが、本市の地震対策は。

上下水道部長

水道は、災害等の非常時においても可能な限り給水を継続することが求められているため、福山浄水場と長船水源地の耐震化及び非

〔感震ブレーカーの種類〕

分電盤タイプ	コンセントタイプ	簡易タイプ
センサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断	センサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断	重りの落下やパネの作動によりブレーカーを落として、電気を遮断
約5～8万円	約5千円～2万円	約3～4千円
電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要
・作動の信頼性が高い ・地震検知後、3分の遮断猶予が設定	・作動の信頼性が高い ・コンセントごとに、通電の遮断が可能 ・揺れと同時に電気が遮断	・安価だが作動の信頼性に劣る ・揺れと同時に家屋内すべての電気が遮断されるので、懐中電灯等の準備が必要

出典：瀬戸内市ホームページ



代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

代表質問

創流クラブ 竹原 幹

- 1 財政問題について
- 2 ふるさと団体応援寄付金について
- 3 ゼロカーボンシティ推進事業について
- 4 下水道及び合併処理浄化槽設置整備事業について

問 中期財政計画では、税収が減少傾向を示しているのに、毎年過去最大の予算を組んでいる。また、その財源を基金とふるさと納税に頼っているが、どう評価しているのか。

総務部長

令和6年度と5年度の当初予算を比較した場合、約4億4千460万円と増額になっている。人件費や物価高騰の影響による管理経費、ふるさと納税の増額を見込んだ積立金の増額、学校給食の公会計化や脱炭素先行地域づくり事業に係る事業費などが主な要因である。

事業の見直し、DXの推進による業務の効率化などで歳出を抑制し、企業誘致の推進、定住の促進などによる税収増、ふるさと納税などの自主財源を安定的な収入としての確保

問 ふるさと納税制度を活用した市民活動団体等支援制度を立ち上げたが、特定の団体を特別扱いする制度であり、公平性、公正性に欠けているのではないか。

総合政策部長

この制度の対象団体は有識者による審査を経て採択を受けており、公益性、公平性のある

問 領収書もなく、なんでも使えるという制度は、税金の使い道としていかなものか。

総合政策部長

また、ふるさと納税制度の本来の趣旨に反するのではないかと

市の予算として、寄付金として計上し交付

する。その使い道は公益的なものに限る。仮に不当なものは指導する。寄付者が団体を支援したいという思いを考えた時、ふるさと納税の仕組みで比較的集めやすい制度を使い、公益的なものであるという判断の上で、予算を組んでいく。

問 民間会社による農業振興地域への太陽光パネルの設置が進むが、どう評価しているのか。

問 下水道は、永久的に市が管理しているのに対し、合併浄化槽は、個人所有で個人の管理となっている。合併浄化槽は、必ず壊れるものであり、その負担への不公平感は大いにある。これを解消するには、※市町村設置型合併浄化槽事業に取り組むしかないのでは。

市長

将来的にいろいろな問題が出てきた段階において、市の方でできることをする。

※市町村設置型合併浄化槽とは、浄化槽の設置からその後の維持管理まで市が行う制度



市のふるさと納税サイトを利用して、ふるさと団体応援寄付金を集める



農振のかかった農地に整備された太陽光パネルと、その下に植えられた榊



代表質問

瀬戸内市民の会 小野田 光



代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

- 1 瀬戸内市の現況と今後の展望について
- 2 災害対策について

問 今年瀬戸内市誕生20周年を迎えるが、現状と今後の展望を問う。
市 長 まずは、中心部と周辺部の地域間格差がより顕著になっている。手立てが必要と考える。対策は。

地域ごとの異なる課題解決に向け地域住民と効果的な取り組みを実施する。
各部署が連携し総力を挙げ周辺部でも暮らし続けられる施策を講じる。

問 均衡ある発展が必要だ。具体的な方策は。

市 長

周辺部では、空き家の増加に対応するため利活用繋がる移住定住促進や地域維持に向けた公共交通の充実、働く場の確保やにぎわ



瀬戸内市誕生20周年

問 周辺部では、例えば池の堤体等の草刈りも町内会でできにくくなっている。ふるさと納税等を活用し、中心部より厚遇できる仕組みが必要ではないか。

市 長 それぞれのコミュニティの皆さんの頑張りが支援できる制度設計をしっかりとやっていきたい。

問 備前市と連携し人が来る仕組み、にぎわい、交流人口の増加を図っては。

市 長

両市で連携を図り事業を進めていく。

問 能登半島地震において想定外の大きな被害が顕著になった。本市の災害対策について問う。

市 長

未耐震住宅の対策が必要と考えるが対策は。多額な費用が必要のため、耐震工事を断念するケースが多い。本年度から安価な部分耐

震改修も補助する制度を導入している。
問 避難所の設置運営を根本から考え直すべきでは。
市 長 既存の施設で足りるかという課題も含め、最悪の事態の対策等、新たに検討する。

問 相互支援の観点から県外の市町と連携協定を結ぶはどうか。
市 長 ネットワークを広げていく意味からも災害時の相互応援協定等、今後進めていきたい。

問 防災計画は常に見直すべきではないか。
市 長 最悪の事態を想定し、見直しを図っていく。



代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

代表質問

日本共産党瀬戸内市議団 厚東 晃央

- 1 安心安全のまちづくりについて
- 2 教育の充実について
- 3 国民健康保険税について



市総合防災訓練（令和5年度）裳掛小学校

問 災害時の避難所は29年前の阪神淡路大震災時からあまり改善されていない。海外ではテントや仕切りを使い、プライバシーが守られる避難所になっている。行政の責任で避難所の改善をすべきでは。
総務部参与 現在、段ボールベッド48台、テント型の避難ルーム170台、仕切り1千500枚を備蓄している。引き続き避難所における生活環

境の向上に取り組んでいきたい。
問 災害時の避難所には水や電気の維持が必要である。備蓄の水や発電機を設置すべきでは。
総務部参与 自家発電を整備している施設は、中央公民館、牛窓町公民館、ゆめトピア長船の3か所である。ほかの避難所でも発電機などの整備はしていかなければいけない。



県・市合同総合防災訓練（令和4年度）牛窓中学校

水については、備蓄を進めるとともに、給水車での対応も計画している。

問 避難所となる体育館へエアコンの設置をすべきでは。
教育次長 既存の体育館の構造では断熱性が確保できず、エアコンの設置は難しい。大型扇風機などで対応する。学校が避難所となる場合は、エアコンが整備されて

いる教室などでの対応を想定する。

市 長

能登半島地震を教訓にしながら、防災対応のあり方を検討したい。

問 柵やふたのない用水路等に落下防止の対策をすべきでは。
産業建設部長 安全危険箇所のすべてに対応するのは難しい。柵の設置などのハード対策だけではなく、

問 学校給食費の無償化が令和6年9月まで継続、10月以降は半額負担となるが、無償化の継続をすべきでは。
市 長 給食費半額を維持できるように頑張りたい。状況が変われば、さらなる負担軽減も視野に入りたい。



川勝 浩子

問 がん治療による外見の変化への助成は

答 医療用ウィッグ購入費の助成を始める



代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 災害時において、誰であっててもその場に

いる人が迅速かつ確実な
過去の災害では、女性を取り巻く様々なトラブルが発生している。市としては現在、避難所運営の職員研修や住民向け研修会を実施し、女性への配慮についての啓発や、防災対策への女性の参画を意識した取り組みを推進している。

総務部参与

問 女性の視点からの防災対策として、避難所での、女性に対するト

ラブルへの対策は。
医療用ウィッグ購入に係る経費の一部を助成する。助成は購入費の2分の1で上限額3万円である。

いづも・健康部長

問 がん治療による外見の変化に対しての助成の具体的な内容は。



学校給食（和食）の献立

食の大切さを子どもたちに伝え、生産者への感謝の気持ちを醸成させ、給食を残さず食べるように指導している。

教育次長

問 給食の残食量を減らすための対応は。

いち早く避難者の受け入れ体制を整えることが可能。地域における防災の取り組み状況を踏まえ検討する。

総務部参与

初期期の動きを実現する方法を示した、ファーストミッションボックスを各避難所に置いてはどうか。



室崎 陸海

問 観光客が街歩きを楽しむ整備が必要では

答 おもてなし施設等整備促進補助金を活用



代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 クリーンセンターかもめ周辺の市有地に公園を整備してはどうか。
長船クリーンセンター

観光客の受け入れ体制の強化を図るため、おもてなし施設等整備促進補助金制度を利用し、民間投資の促進を図っている。

市 長 しおまち唐琴通りは地域おこし協力隊が空き家を活用し、一定の成果を上げている。

問 牛窓町のSEC跡地を観光客用の駐車場として利用したらどうか。また、しおまち唐琴通り等観光客が街歩きを楽しめる整備を考えるべきではないか。

市 長



SEC跡地を観光客用の駐車場にしてはどうか

での回収業務をかもめに集約し一元化するため以前と比べ大きく変わる。今後、クリーンセンターかもめの業務をしっかりと整理した上で、有効な土地の活用を見定めていく必要がある。

クリーンセンターかもめ周辺の土地の有効活用については、できるだけ早期に解決すべき課題と認識している。



代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

日下 俊子

問 長船町公民館は跡地利用決定後潰すべき

答 跡地利用を早急にお示しする



民間保育園では、福里地域の防災拠点にはならない。保育施設なら、公営であるべきでは。そして、かねてからの約束通り福里地域の住民の防災機能を持った場所にする必要もある。跡地利用が決まるまで、解体すべきではない。

問 本市では、希望する保育園に入園がかなわないケースが増加しており、特に長船地域で顕著である。公民館跡地の一部を利用して、民間の保育施設の誘致を考えている。

三浦副市長

平成30年から、長船町公民館を守る要望、ゆめトピア長船に保健福祉機能を残す要望が出されたが、二転三転しながら庁舎再編はおかまひなしに進んできた。あとはゆめトピア長船への長船町公民館の移転を残すだけとなったが、跡地利用はどうするのか。

「ありがとっ！長船町公民館」として、3月2日から8日に行われた市民創作展



長船町公民館跡地に誘致を考えている施設は、致を考えている。長船東保育園の代替施設ではない。

市 長

問 老朽化が激しいとしてトイレ改修も対象の今後、早急に考える必要があるのでは。

跡地利用を早急にお示しする。保育施設の誘致と合わせ、それ以外の土地で、地域の皆さんが安心できる施設の在り方を考えていく。



代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

成木 崇

問 牛窓学校給食調理場建物の今後の策は

答 教育委員会で協議していく



市 長 具体的な検討に至っていない。検討していく。

問 「食のしあわせプロジェクト」で、学校給食食材における地産地消割合を増やすためには、保冷施設などの設備投資が必要では。

教育次長 教育委員会で協議して、更にアイデアが必要であれば他部署を含めての会議にかけていく。

問 再活用の検討の枠組みを作る考えは。

三浦副市長 子どもの遊び場に限りず、様々な可能性がある。しっかりと見極めたい。

問 令和5年度末をもって役割を終える牛窓学校給食調理場の建物は、調理スペースが約80坪の広さがあり、室内型コードもパークなどへの転用・再活用ができるのでは。

各連携機関と密に連絡を取りながら進めたい。

産業建設部長

問 市で地域産品のマーケティングにも力を注いで。



各種イベント等において周知や学校給食等への活用などを検討する。

産業建設部長

問 瀬戸内市で作る「備前黒皮かぼちゃ」が農林水産省の地理的表示保護制度に登録された。地域の産品に対する市の取り組みは。



舞 真弘

問 市営バスの経路変更をしては

答 改善できる余地がないか検討する



代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。



代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

木下 公文

問 大型体育施設の建設をしては

答 出来る可能性を探りながら考えていく



問 大規模の大会や、文化的行事、セミナー等にも使える大型体育施設が一箇所は必要ではないか。

市長

本市に観客席付きのアリーナ建設が出来れば、一つの魅力に繋がる。財源問題等、課題が多くあるため、可能性を探りながら検討していきたい。

問 スポーツ公園の体育施設にはエアコンもなく狭い、観客席がない、駐車場が少ない等、使い勝手が悪いという声をよく耳にする。少しずつ改善して欲しいが、まずエアコンを設置してはどうか。

教育次長

全体的な改修や建て替えが必要となるため、大型冷暖房やスポットクーラーでの対応が望ましい。



エアコン設置を望む体育館

問 猟友会以外の団体も猟期外に捕獲ができるようにしてはどうか。

産業建設部長

引き続き、研究していきたい。

有害鳥獣は、以前よりも目撃情報が増えている。農地に限らず、小学校、民家、道路などにも出没している。特に猪・鹿が多くみられる地域は個体数を減らすことに注力してはどうか。

産業建設部長

駆除数を増やしていく必要もあると考えている。



強風の後、倒れた竹で塞がれた市道

問 子育て支援の充実として、タクシーチケット配布を、妊産婦にとって利用しやすい方法に変更しては。

いづも・健康部長

妊産婦に対して安心感が増すという事は、少子化対策につながる。

森林環境譲与税を活用した事業の一つとして、市民の安心・安全につながるよう検討したい。

産業建設部長

問 強風の後に道を塞いだり、野生動物の潜在場となっている放置竹林に困っている地域がある。竹をチップ化する竹粉碎機を無料で貸し出ししては。

教育次長

令和5年度の要望は151件、対応済みが41件、対応予定が59件で、今後でも対応していく。

問 自治会やPTAから提出されている、通学路の危険箇所改善の要望に対する進捗状況は。

原野 健一

問 次なる企業誘致に取り組んでは

答 法的手法も変わり具体的な企業選定必要



代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。



代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

廣田 均

問 地元からの被害防止の請願に市の対応は

答 所有者に文書で適切な管理をお願いする



問 鹿忍地区旧塩田跡地は悪臭等の被害発生により地元から議会へ請願が出ているが、市の対応は。

環境部長

文書で所有者に適切な管理をお願いしていく。

問 市誕生20周年記念事業の取り組みは。

三浦副市長

11月1日に式典、行事を開催する。これまでの歩みや将来像を共有した楽しめる内容を検討する。

問 前島架橋を都市計画審議会の中で検討するのか。

総合政策部長

市全域の道路交通ネットワークのあり方の中で検討整理していきたい。

問 郷土、里海づくり事業とは。

問 邑久町豆田の工業団地に始まり、長船町宮下の工業団地と、本市における企業誘致は大変期待の持てるものとなっている。

立地条件の良いブルーラインのインターチェンジの近くに、耕作しにくい事から荒廃した広い農地があるが、農振地域のため開発のできない土地となっている。

雇用創出の拡大からも、次なる企業誘致に向けて取り組んでは。

難波副市長

企業誘致を進めるに当たり、昔であれば用地の造成さえ行えばニーズがあり、多くの問合せがあり造れば売れていた。しかし10数年前から、造れば売れる時代ではなくなってきた。

法律も大きく変わり、今までは導入する企業をイメージしなくてもできていた造成地が、今では事前に各企業の意向を聞



ブルーラインインターチェンジの間近にある荒廃した広い農地



消防署での災害用ドローン訓練

問 災害現場では、道路の寸断等で被災地に入らず孤立する地区がある。

消防長

このような現場では、ドローンが有効であると思うが、活用と訓練は。

問 岡山大学と連携してアマモ場等の環境を解析し、漁獲の減少する魚の調査や海洋汚染問題、環境保全学習を、令和6年度から行う。

環境部長



令和6年2月10日本会議場で、開催し、常任委員会ごとに委員会等の審査内容の報告と、それぞれのテーマについて、意見交換を行いました。

議会報告会は、議会活動に関する情報を市民に説明するとともに、議会としての意思決定の内容を伝え、市民からいただく意見を議会活動に反映させることを目的としています。

下記に意見交換の中でいただいたご意見・ご提言を載せています。市政に対することは、市長に送付しました。

全体の感想・要望

- 開催回数を増やして欲しい。
- フリートークの時間があればよい。
- 各委員会のテーマの他に「その他」という項目を設け、全市横断的なテーマ、例えば「議会のあるべき姿」ということについての話し合いの場としてもらいたい。
- 若い人の参加がないので、未来を担う若い人への広報が必要では。高校生への体験参加など開催してはどうか。

総務文教常任委員会

公共交通について

- 国もライドシェアという考えがあるが、市も取り組んでは。
- 高齢者にとって衣食など日常の交通が大切であり、スーパーの入り口まで公共交通が乗り入れているところと、そうでないところがある。利便性において不公平ではないか。

都市計画について

- 駅周辺のまちづくりをどのように考えているか。高校生も駅前にくつろげる、会話が出来るような場所がほしい。若い世代にとって魅力がない。
- 人口減少、空き家の増加、農地荒廃などが市の問題となっている。この場に来ている人は興味関心があるが、そのほかの人への計画のPRやその方法が重要ではないか。

環境福祉常任委員会

火葬場について

- 玉野市のみやま公園の近くにある斎場では食事をする場所があるが、瀬戸内市の火葬場の施設の中にも出来ないか。
- 火葬場の食事場所として、一本松の上の店舗を使ってはどうか。

ゼロカーボンについて

- 新電力会社の資本金の1,700万円にびっくりした。太陽光パネルを並べるところはどこか、終了後パネルの処理をどうするのか。
- 不信感を抱いているのは出資者から岡山村田製作所が抜けたこと、みやまHDが事業として持ってきたのにその会社は抜けて、その代表だった方が新電力会社の副社長になっていること。

産業建設水道常任委員会

JR駅前整備について

- 長船駅にタクシーが停まっており、市民の送迎が重なると、混み合っている。出入り口を同じ道ではなく、別の道で出来るようにすべきではないか。

観光について

- 砥石城跡へ車で行く際に道が狭い。道案内が少ない。周辺整備をし、足を運びやすくすべきでは。
- 市内観光を誘導するようなメニューがない。二つの道の駅を活用して、観光紹介や観光誘致をすべきでは。
- 日本一の駄菓子広場を核として牛窓に観光発展していくことを考えては。
- 刀剣博物館の来客を瀬戸内市の観光へつなぐ施策を。市内の観光ルートを作り、アピールすべきでは。



代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

島津 幸枝

問 就学援助の拡充を

答 私立学校も対象にし、所得基準を広げる



教育次長

問 就学援助を私立中学も対象にしては。また、所得制限の見直しをし、対象になる世帯を拡大しては。

令和6年度から私立学校を対象とする。とともに、就学援助を受けられる所得基準を拡大する。

問 令和7年度から実施予定の学校給食のアレルギー対応はどのように実施するのか。

教育次長

アレルギー除去食対応を考えている。調理場や学校、関係者一同で協議しながら進めていく。

問 地域電力会社が2月に設立した。資金繰り計画には、令和6年度は2億3千万円、4年間で15億8千万円を金融機関から融資を受ける計画になっている。11月議会では、市は、出資金1千

700万円以外は1円も電力会社に対して投入することはないという答弁だった。電力会社が金融機関に融資を受ける際、市は担保の変わりに、損失補償契約をするのか。

環境部長

今の段階では考えていない。絶対にしないという約束ができるかといわれると、約束は難しい。



瀬戸内市民電力株式会社設立会見

研修会



議員研修会

令和6年2月6日

市議会とは毎年1回、テーマを決めて講師を招き、議会研修会を開催している。

【演題】

「議員・議会の役割と権限」

【講師】

自治体議会研究所
代表 高沖秀宣氏

【講義内容】

議会力とは、市長等に対する監視機能を十分に果たすとともに、政策立案及び政策提案を議員間で共有し、議会全体の政策資源として、市民のためのより良い政策とする力及びその政策実現に向けた総合的な活動という。

議会が二元代表制の下で、議会の役割を十分に発揮するために、その機能を強化して行くこと、議会力の強化というものが重要だと感じた。





地域のかがやき

地域の写真を市民のみなさんから募集します
(下記メールアドレスにお送り下さい)



子どもたちの朝のルーティーン ♪ (国府小学校)
校門を入ったら一列に並んで、校舎に挨拶します



金毘羅参りに出発！
(子父雁漁港)



寒風の丘で遊ぶ子どもたち
(寒風こどもフェス)



貴船神社ライトアップ
(瀬戸内市商工会青年部の皆さん)

牛窓海水浴場が開設される宿井浜の牛窓神社鳥居の裏側には、地層が地表に露出している露頭があり、一帯を「牛窓宿井浜の露頭（珪長質岩脈群と断層）」として市指定天然記念物に指定されています。

この露頭では、花崗岩などの岩石にマグマが入り込んで固まった珪長質岩が、南北に延びる断層によって切れたり、ずれたりした非常に複雑な地質の様子を観察することができます。

これらの岩石の産状やマグマの入り込んだ関係は、約八千万年前にユーラシア大陸東縁の地殻内部で起こっていた複雑な火成活動や、それ以降に起こった地殻変動を示しており、日本列島の土台の形成過程を示す地質学的に極めて重要な露頭です。



知ってますか？
文化財

牛窓宿井浜の露頭



珪長質岩脈群と断層

次回定例会の予定

(インターネット中継のある日)

都合により、日程が変更となる場合もあります。

6月6日(木)	本会議	9:30～
13日(木)	本会議	9:30～ 一般質問
14日(金)	本会議	9:30～ 一般質問
17日(月)	本会議	9:30～ 一般質問
18日(火)	本会議	9:30～
28日(金)	本会議	9:30～

編集後記

新年度が始まりました。今年、5年ぶりに子どもたちの門出を祝うことが出来ました。今後も学校と家庭と地域が手を取り合つて、互いに育つ市でありたいと決意を新たにしました。

2月定例会は、令和6年度の予算編成をはじめ、市の方向を決める大切な議会です。今議会も活発な議論が交わされました。その議論をこの議会だよりを通して、みなさまにお伝えしたいと工夫を凝らして編集しています。ぜひみなさまのお声をお聞かせください。

(日下 俊子)

●お問い合わせは議会事務局 (0869)22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <https://www.city.setouchi.lg.jp>

会議の様子を、生中継および録画放映でご覧になれます。



この市議会だよりは再生紙を使用しています